

令和４年度第２回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和４年１１月１９日（土） 午後 １時３０分 ～３時３０分	
開催場所	東部交流会館	
担当議員	班代表者	谷口 雄一
	司会者	玉川 実二
	報告者	酒井 弘一
	記録者	兎本 尚之・福井 平和
	班員 (上記以外)	高味 孝之・柴田はすみ
参加人数	１０人	
主な質疑・意見等	Ｑ：小川内水対策について、対策後何ミリの降雨量まで耐えられるのか。 Ａ：何ミリだったら大丈夫とは言いにくい。現在、毎分１６０トンの排水能力で、４４０トンまで排水能力を上げる計画となっている。 Ｑ：排水能力何トンと言われても、物差しにならない。社会の常識は、降雨量何ミリであり、排水能力で市議会は了承しているのか。市民感覚と離れている。 Ａ：降雨時間とも関係するので、何とか報告できるように努力したい。 Ｑ：インターネットによるライブ配信を見ていても、その際、議員が使っている資料が公開されていない。市民にも議論の内容が理解できるようにすべきである。 Ａ：会議システムの更新に合わせてライブ配信時の資料の公開についても議論しているが、今後、議論して、改善に努めたい。 意見：内水対策と関わって、樹木の伐採や木津川の河床を下げるなど、国会議員や府会議員と連携して取り組んでもらいたい。 Ｑ：市内でプロパンガスを利用している世帯はどれくらいか。使用料金はどのようにして決められているのか。 Ａ：都市ガスは２万世帯を超えていると推測するが、料金の設定を含め実態は承知していない。 Ｑ：議会だよりの編集について、本会議で何を討議され、決定されて、このような見出しや記事になっているのか知りたい。例えば、表紙の目次では、「コロナ対策・支援を審議 ２～３」となっているが、該当ページを見ても、反対討論で一部コロナに触れている程度である。コロナに関心を持っているのに、討論以外何ら触れられていない。 また、４～５ページの見出しは、「ワクチン給付金等を認定」とあるが、これに関連した記事は決算額以外にどこに説明があるのか。	

主 な 質 疑 ・ 意 見 等	A：広報紙のスペースもあり、詳細な記事にまで至っていない。 Q：市のコロナ対応に大きな不満を持っている。市議会としてワクチン個別接種についてどういう対応をされたのか。感染が多い時に危機管理に対する行動を起こしていない。京都山城総合医療センターにおいてクラスターが発生したが、市民に何の連絡もない。市議会の対応は。 A：地元医師会の了解を得て進めるという中で、他市と比べて個別接種の対応が難しい部分はあったと思う。しかし、接種されるのも専門知識を持ったお医者さんということもあり、かなり受け身であったのかなという部分は想定するところである。行政も夜間接種等々の対応もしており、しっかりした対応であったと考えている。 また、関係部署には情報がいつているが、地域長を通じて地域には伝わっていなかったということはある、今後、フォローが必要と考えている。 Q：議会として、医師会と折衝したのか。 A：医師会会長と話をしたことがあるが、いち早く個別接種をして欲しいが、お医者様の都合がそれぞれあってなかなかできないということであった。 意見：議会議員がいかに関心ないか、言葉の裏から読み取れる。コロナ発生の特異性を捉えて、市民に啓発すべきである。それは市議会がすべきだ。今までを反省し、取り組みをお願いしておく。 意見：議会だよりは、市議会の本会議軽視となっている。本会議が2ページであるのに対して、一般質問のページ数は多い。編集の全スペースを本会議の審議内容とその決定事項にすべきではないか。現状では疑問だけしか出ない。 意見：議会だより見ても分かりづらい。大きなタイトルがあっても、どういふことで認定したのかということが質疑内容では読みきれないから、読む気にもならない。専門用語が出てきて何を言っているのか分からない。 Q：議会だよりの編集について、市民の参加はあるのか。 A：編集には参加はない。 意見要望：市民が議会のことを理解するような場をもっと積極的に考えていくべきだと思う。そのためには、例えば、議会だよりの編集に当たって、市民や希望者に参加して頂くといいのでは。市民の参加により、この内容ならこのように編集してはと、色々考える中で、議会のことがだんだん分かってくる人も増えてくるのではないかなと思う。 Q：小川内水対策について、令和5年度単年度なのか、本体の事業費は。 A：令和5年度完成に向けて、今順調に進んでいる。設置工事そのものの予算はまだ計上されていない。
----------------------------	--

主 な 質 疑
・ 意 見 等

意見：議会報告会で出された要望事項に関しては、市に要望した、実現したなどの返答が欲しかった。

意見要望：木津川の土砂堆積と樹木繁茂で、流下能力がかなり落ちている。国交省に、土砂の撤去、樹木の伐採を行われるようお願いしておく。

意見要望：本日の説明で、「給食費補助金」という言葉が出て、親に補助するのかわかったら、6ページの見出しは「2580万円を充当」となっている。さらに質疑では、「補助額の算出方法は」に対し、アンサーは「補填する」と。これは、市の予算で給食費の材料費を支出するということなのか、どこに誰に補助金を出すのか分かりづらい。誰が読んでも分かるよう結論を書いてもらえば嬉しい。記事はきっちりと質問に答えていない。そのときの答弁として誰もが読めるよう整理して頂いたら嬉しいなと思った。

意見要望：①木津川市は将来にわたって人口が多くなっていくと自慢のように言っているが、そうではなく、住みたい、住みやすい、住みよいというようなところをアピールする必要がある。そういう意味では、木津川市は、こういうところといったアピールをする必要があるのではないかと思います。

②子どもたちに良い意味でのスポーツクラブ、文化サークルをやってもらうためにも、何かに長けた人材が必要。しっかりと協議会、行政の委員会、行政と議会と市民とが一緒になって、子どもたちの育成の推進をお願いしたい。

Q：新しい住宅地と旧集落と二極化されている。「地域格差」についてどのように考えているのか。

A：旧村には旧村の良いところがあって、新しいところには新しいところの良いところがある。格差という言葉だけで判断はできないと考える。各々の良いところをどう活かしていくかということが、これからの課題と考える。新しい古いという垣根も取り払い、いろいろなところで交流をしていくということも必要になってくると考える。

意見要望：浄化槽の処理水を従来の農業用水路に垂れ流しにしないで欲しい。市の用水路を市で進めていただきたい。

意見：地域長を囲む会のようなことが議会報告会でも必要だと思う。しっかりと地域からの積み上げた議論が必要であるので、市は自治会が活性化するようにしてもらいたい。

Q：議員定数と議員報酬についての考えは。

A：定数については今のところ増減の意見は出ていないので現状の定数のままである。報酬については、他と比べて低いという認識を持っているのが、議会の認識です。

Q：前回の議会報告会で、議員定数と報酬について言ったが審議したのか。

A：議論した。

	意見：議会だよりの前に、議会を理解する知るための基本知識というような副読本のようなものを、市民向けに作成してみてはどうか。
質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和４年１２月９日

木津川市議会議長 森本 隆 様

令和４年度第２回議会報告会
第１班 代表者 谷口 雄一